

## 2019 年度 川崎市障がい者スポーツ指導者協議会 事業報告

### 1 新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症対応によりスポーツイベント等が中止となり、参加予定していた会員への周知を徹底した。また、日本障がい者スポーツ協会からの「スポーツ庁からの事務連絡」等をメールアドレス登録されている会員に対し周知した。

### 2 会員の育成と活動の促進

#### (1) 大会及びイベント等への会員派遣の促進

- ・ 大会ボランティア参加意向調査を上期下期の年 2 回に加えて、年度途中の意向再確認調査や追加募集もメールを活用して実施することで、タイムリーな情報発信と会員派遣先のマッチングを行った。
- ・ 川崎市障害者スポーツ協会と協力して大会ボランティア参加意向調査の結果を共有し、会員へ連絡の徹底を行った。さらに大会実施要領を事前配布することで会員の事前学習につながった。(これらの連携により、会員の大会参加人数が平均して募集数を上回るようになり、参加促進が図れた。)
- ・ 市内団体への継続的な会員の参加を目的として、第 35 号の協議会ニュースにボランティアスタッフ一覧を同封した。

#### (2) 広報活動の促進

- ・ ホームページを更新して、会員が必要な情報等(大会ボランティア参加意向調査等)を掲載し、会員の拡充を図った。
- ・ メールアドレス登録されている会員に対し、東京パラリンピック情報、ホームページ更新及び新型コロナウイルス感染症などの情報を発信し、情報共有を図った。
- ・ 協議会ニュースの発行(年 2 回)  
第 34 号 令和元年 8 月発行(新会長挨拶、総会報告、役員名簿、大会等報告、大会ボランティア参加意向調査 他)  
第 35 号 令和 2 年 3 月発行(総会案内、講習会や大会等報告、大会ボランティア参加意向調査 他)  
なお、会員の住所変更に伴い未郵送となった協議会ニュースは、可能な限り会員に電話等連絡して、再郵送することとした。
- ・ 開催予定の教室及び講習会のポスター・申込書の配布、掲示を施設等へ依頼した。
- ・ これらのきめ細やかな対応において、会員に満足度も向上した。

### (3) 他機関連携

- ・ 会員拡充のため、川崎市の依頼により初級障がい者スポーツ指導者講習会に講師を派遣。
- ・ 市内スポーツ団体の依頼により、講師や審判等イベント開催に対する協力を実施。  
(NPO法人高津総合型スポーツクラブSELF、川崎ボッチャクラブ 他)

## 4 会員に向けた事業の開催及び研修会等の実施

### (1) 障害者スポーツデー等への講師及び会員派遣等の協力

- ・ 市内で開催されるスポーツイベント（誰でもスポーツ広場 他）
- ・ 障害者スポーツデー（全10回、延80名程度）

### (2) 研修会等の実施

- ・ 全国障害者スポーツ大会ボッチャ競技審判講習会に会長が参加  
(令和元年12月15日)
- ・ 卓球バレー指導者養成講習会（令和2年1月12日）8名参加
- ・ ボッチャ審判講習会（令和2年1月13日）25名参加
- ・ 関東ブロック障がい者スポーツ指導者研修会（令和2年2月1日）

関東ブロック障がい者スポーツ指導者協議会主催の研修会が川崎市内で開催され、会員を派遣して運営協力等も実施した。

## 5 市内における障害者スポーツの普及と選手育成及び強化

### (1) 選手育成及び強化

- ・ 全国障害者スポーツ大会（茨城大会）及び強化練習への会員派遣  
(大会は台風19号の影響により、直前に開催中止となった。)

### (2) スポーツ教室及びレクリエーション教室等の開催

- ・ 施設等へ出向いての指導・助言や協力

### (3) 市内における団体への会員派遣の継続

- ・ 陸上、卓球、ボッチャ、フライングディスク、その他